



# 四季彩

八景中学校だより  
2022. 1. 11  
第 12 号  
三田市立八景中学校

## 本年もどうぞよろしく申し上げます

謹んで新春の祝詞を申し上げます  
昨年はコロナ禍の活動において  
沢山のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます  
皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします  
本年もどうぞよろしく申し上げます



## 年始の閑話

今年は寅年です。十二支は子（ね）から亥（い）まで言えますか。干支（えと）は中国の曆に由来するもので、日付を記録するために使われていたそうです。その後、日本に伝わったのは4世紀以降とされています。ところで、この順番はどのようにして決まったか知っていますか。諸説ありますが、これがなかなか面白い。

お釈迦様は次のように提案されました。「元日の朝、新年のあいさつにやって来い。一番早く来た者から12番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう」というのです。動物たちはたいへん盛り上がりました。

12月31日、競争してもかなわないと思った牛は、暗いうちに出発しました。それに気づいたネズミは、こっそり牛の背中に乗ったのです。早く出発した甲斐あって、牛が1番にお釈迦様のところに到着。その時、ネズミが牛から飛び降りて牛より先にお釈迦様にあいさつしました。結果は、ネズミが1番で牛は2番。すべてお見通しのお釈迦様もネズミの行いを非難したりはしませんでした。

さて、3番の虎についてです。牛が前日に出発していなかったら、きっと自分が1番だったはず。しかし、悔しがったりネズミや牛を恨んだりすることはなく、堂々としていたそうです。12番までに入りさえすれば、順番は気にしなかったようです。

そのほかにも、龍と巳（へび）は一緒だったけれどへびが遠慮して龍を先に行かせたとか、猿と犬も同時に到着したけれどケンカばかりしていたので、鳥が間に入って仲裁した。だから、サル・トリ・イヌの順番になったとか。こうして次々に順番が決まり、最後はイノシシになりました。イノシシは足が速いけれど真っ直ぐしか進めなかったため、12番になったそうです。

では、13番目に来た動物はなんだったのでしょうか。それはイタチでした。イタチはもっと早く着いたようですが、自分は12番でいいと思って、あとから来た動物に順番を譲っていました。いよいよ12番目に入ろうと思った時、突進してきたイノシシに突き飛ばされて13番目になったそうです。また、十二支にネコがないのはどうしてか。実はお釈迦様の話をしっかりと聞いていなかったらしく、そばにいたネズミに何を言っていたか尋ねまし

た。ネズミが1月2日にあいさつに行くのだとウソを教えたので、2日にやって来たネコは十二支に入れなかったということです。だからネコはネズミを恨んで追いかけるようになった。さすがにかわいそうに思ったお釈迦様は、十二支に入れなかったイタチとネコを日時の呼び名に使用して、月の始めの日を「ついたち」と呼び、時間の単位を「猫（秒）」にしたとか。

こじつけっぽいところはありますが、笑える話でしょう。動物たちの特徴がよく表れています。しかし、感心させられるのは、動物たちが自分のことを客観的に理解しているところ。

今年一年、笑顔で過ごせたらいいなあと思って、この話を紹介しました。

## 閑話休題 目標をもって3学期のスタートを！

十二支の話に戻りますが、それぞれの干支は方角や時間を表します。寅の方角は、「東北東」を指します。また、寅の刻は、午前3時から5時までの2時間、つまり朝方を表します。私たちの感覚では少し早いと思いますが、夜が明けて今から一日が始まるという時間が寅の刻なのです。

こんな言葉があります。

『一日の計は朝にあり 一年の計は元旦にあり 一生の計は少壮の時にあり』

物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だという意味ですが、それぞれの最初とはいつかを示しています。一日の計画は朝のうちに立てるのがよい。（一日の計は寅……と言うこともあります。）一年の計画は元旦（1月1日の朝）がよい。一生の計画は若いとき（中学生・高校生）がよい。

目標達成のためにどんな道筋を歩いていくかを考えることが大切です。1年後の自分がどうなっていたいか。そのために3月末にどうなっていたらよいか。また、1か月後は。今週中に何をやったらよいかを考えてほしいのです。長期目標のために中期目標（中間点でどうなっていたらよいか）を設定し、短期目標（実現可能な目の前の課題）に取りかかりましょう。3年生は次のステージで、2年生は最高学年として、1年生は中学校の先輩として活躍するために。

もちろん一本道ではないでしょう。最短コースがよいのか、それとも「急がば回れ」がよいのかはわかりません。しかし、めざすゴールは変わらない。道に迷ったときは、周りの人に道を尋ねるのもよし。ぶれない心と柔軟な思考を持って、「前へ！」



## 学校評価 保護者アンケートについて

学校評価保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。コロナ禍により学校での生徒の様子を見ていただく機会が十分でなかったこと、お許しください。アンケートでは、自由記述でも貴重なご提言をいただきました。早急な対応が必要なご提言については、ただちに検討していきます。また、多くの皆様から感謝のお言葉をいただきましたこと、とても励みになります。すべてのご意見をきっちりと受け止め、生徒が健やかに成長できるよう一層尽力していきます。

保護者アンケートと生徒アンケートを丁寧に分析し、関係者評価と合わせて、よりよい学校づくりに活かしていきます。分析結果については、2月以降に報告する予定です。